

くみあい苦土カル



野菜・果樹・牧草その他の畑作に欠かせない

くみあい苦土カルは、アルカリ分55パーセント、く溶性苦土10パーセントを保証している理想的な肥料です。くみあい苦土カルは、1回の施用で苦土と石灰が同時にほどこせるので、労力の節約になります。

- 作物が丈夫に育つには、三要素のほかに、苦土と石灰は欠かせません。
土の酸性をなおすのにも、重粘土壌や腐植の多い土壌改良にも、苦土と石灰がぜったい必要だからです。
- 野菜や果樹、牧草、茶等は特別たくさんの苦土と石灰を吸います。
- 苦土が充分ないと、作物の葉緑素が出来ません。それは葉緑素の中心が苦土で出来ているからです。同時に苦土には、燐酸の吸収を助け、吸われた燐酸を葉や茎から実の方へ運ぶという重要な役目があります。
- 石灰がないと作物にしっかりした細胞壁が出来ません。
- 苦土と石灰を充分にほどこすこと……これが野菜、果樹、牧草、茶その他畑作づくりのコツです。



土づくりシンボルマーク

地力がモノをいう

供給 / JAグループ 全農

製造：村櫛石灰工業株式会社

栃木県佐野市宮下町1番10号 TEL.0283-86-3676/肥料事業部
URL: <http://www.murakashi.co.jp>

くみあい苦土カルの使いかた

- 基肥として全面に散布し、土とよくまぜてください。
- 追肥としてもほどこしてください。
- ふつうの土で、10アールあたり100～200キロですが、土壌の酸度によって増減する。
- 酸性の肥料とはまぜて使えませんが、尿素・石灰窒素・ようりん・重焼燐・カリ・有機質肥料・堆肥などとはまぜて使うことができます。
- くわしい使い方についてはJAまたは農業技術指導機関等にご相談ください。

